

東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻社会情報学専門分野  
2001年冬学期・「情報化社会と産業」(火曜日4時限@第三演習室)

-syllabus-

2001年10月9日版

(10月2日の出席人数を踏まえ、受講者の負担を適正化すべく、見直した)

東京大学社会情報研究所

助教授 田中 秀幸

e-mail: [tanaka@isics.u-tokyo.ac.jp](mailto:tanaka@isics.u-tokyo.ac.jp)

web: <http://www.isics.u-tokyo.ac.jp/>, <http://homepage2.nifty.com/tanaka-isics/>

### 【コース概要】

社会経済活動のデジタル・ネットワーク化が進展するにつれ、従来の制度的枠組みでは対応できない状況が生じつつある。例えば、Linux にみられるようなオープン・ソース・ソフトウェアの浸透や、Gnutella などの Peer-to-Peer Network System によるコンテンツファイルの交換の活発化への対応などである。これらの新しい動向は、経済活動の根本を規定する所有権制度の見直しを迫り(DeLong and Summers(2001))、また、市場とコミュニティとの関係や法律と規範の関係の変容など、さまざまな制度的な問題を投げかけてくる。情報化社会の中での産業活動のあり方を考えるに当たっても、大前提として、基本的検討が求められる制度的課題を考察することは重要である。

本ゼミでは、新制度経済学を基本的枠組みとして用いて、こうした制度的課題を検討していきたい。取り上げる文献は、基本的(古典的)な文献から最新の文献までに亘っている。全体を通じた授業の構成は次の3部からなる。(1)最初に、新制度経済学の枠組みの共有を図る。テキストとしては、ノース(1994)及びコース(1992)を用いる。(2)次に、所有権及び市場に関する議論をサーベイする。前半は、所有権や市場に関するベースの形成を目的とした議論を行い、後半では、情報化社会に対するインプリケーションの大きいアンチコモنزの悲劇について考察する。(3)第三番目として、社会構造に関する議論をサーベイする。デジタル・ネットワークによって実現する新たなネットワーキングを考察するにあたって有用と考えられる二つのテーマ、埋め込み(embeddedness)及び Social Capital を取り上げる。その上で、法と規範の関係を考察する。

ゼミは、受講生による発表に基づき進める(受講人数にもよるが、一人当たり二回程度の発表分担の予定)。取り上げる文献は、必ずしも情報化社会に直接関係するものばかりではないが、そこでの議論が、情報化社会における制度的枠組みを検討するに当たってどのように応用できるかについて、発表者が積極的にコメントすることを歓迎する。ゼミにおける議論を充実させるため、全員が事前に文献を読むことを期待する。成績は、各自の発表(2回の予定)及び平常点に基づく。

【授業計画】

10月2日：イントロダクション

本ゼミの問題意識と狙いを説明する。また、次回以降の発表分担を決定する。

(参考)

**Delong and Summers(2001)**

<第一部>

第一部では、新制度経済学に関する枠組みの共有を図るために、North(1990)及びCoase(1960)を輪読する。

10月9日：制度(1)

North(1990) 第1章、2章、3章、4章

10月16日：制度(2)

North(1990) 第5章、6章、7章、8章

10月23日：制度変化

North(1990) 第9章、10章、11章

10月30日：経済成果

North(1990) 第12章、13章、14章

11月6日：~~社会的費用~~

~~Coase(1960) I-VI, VII-X~~

<第二部>

11月13日：所有権に関する経済学的考察

(必読)

**Demsetz(1967)**

所有権制度に関する経済学的考察に関する古典的な文献

11月20日：所有権制度と経済的効率性(経済史)

(必読)

**Libecap(1986)**

さまざまな所有権制度が経済的効率性に与える影響に関する経済史学者による実証的研究。

(参考)

**Cooter and Ulen(1997)**

11月27日：~~コミュニティと市場~~

~~(必読)~~

~~**Greif(2000)**~~

~~経済学においては、コミュニティと市場は代替的な取引モデルと考えられることがあ~~

~~るが、両者が補完的関係にある点に注目する重要性を指摘している。前近代のヨーロッパの経済発展を対象に考察を行う。一部ゲーム論的な議論が展開されているので、その基礎的理解があることが望ましい。~~

~~(参考)~~

~~Gibbons(1992)~~

1 2月4日：アンチコモنزの悲劇

(必読)

Heller(1998)

移行経済や知的所有権の分析に関して取り上げられることのある「アンチコモنزの悲劇」を最初に提唱した論文。ボリュームがある論文なので、~~二人で分担するか~~ロシアをケースとして取り扱っている Part II を省略して~~一人で分担する~~進める予定。

(参考)

Hardin(1968) , Heller and Eisenberg(1998)

1 2月11日：~~アンチコモنزの悲劇(経済学的考察)~~

~~(必読)~~

~~Buchanan and Yoon(2000)~~

~~Merges(2000)~~

~~アンチコモنزの悲劇を経済学的に考察した論文。後者は新制度経済学との関係を取り上げ、前者は数理的アプローチを展開している。~~

< 第三部 >

1月15日：~~経済活動と社会構造(埋め込み論)~~

~~(必読)~~

~~Granovetter(1985)~~

~~カール・ポランニーによって用いられた埋め込み(embeddedness)の概念は、市場社会の経済分析にも適用可能であり、市場過程の中核的な特性が社会学的分析によって明らかになると主張する論文。~~

~~(参考)~~

~~Granovetter(1995), ポランニー(1975)~~

1月22日：Social Capital

(必読)

Coleman(1988)

ネットワーク、規範や信頼などを考察する際に用いられる主要な概念である Social Capital を最初に提唱した論文。社会学のみならず経済学の分野に対する影響も大きい。

(参考)

Putnam(1995) , OECD(2001)

1月29日：信頼と法

(必読)

Ribstein(2001)

法律と社会規範が信頼の形成にどのような影響を与えるのかを考察した論文。米国の判例の引用があるが、同判例読解トレーニングの前提なく読むことが可能。

(参考)

Fukuyama(1995), 山岸(1998), ルーマン(1990)

(注)文献のあがっていない月日の授業は、出席者の関心事項があれば、それについて議論する自由討論の形で進める。

#### 【文献一覧】

- 授業計画で触れていないものであっても、本コースの参考になる文献を含めている。
- Aoki, Masahiko and Yujiro Hayami(eds.)(2001), *Communities and Markets in Economic Development*, Oxford University Press.
- Arrow, Kenneth J.(1974), *The Limits of Organization*, W. W. Norton(村上泰亮訳(1999)『組織の限界』岩波書店)。
- Brown, John S. and Paul Duguid(2000), *The Social Life of Information*, Harvard Business School Press.
- ~~Buchanan, James M. and Yong J. Yoon(2000), "Symmetric Tragedies: Commons and Anticommons", *The Journal of Law and Economics*, 43(1), pp.1-13.~~
- ~~Coase, Ronald H.(1960), "The Problem of Social Cost", *The Journal of Law and Economics*, 3, pp.1-44(「社会的費用の諸問題」宮沢健一ほか訳(1992),『企業・市場・法』東洋経済新報社)。~~
- Coleman, James S.(1988), "Social Capital in the Creation of Human Capital", *American Journal of Sociology*, 94, pp.s95-s120.
- Cooter, Robert U. and Thomas S. Ulen(1997), *Law and Economics(2nd ed.)*, Addison-Wesley Educational Publishers(太田勝造訳(1997),『新版 法と経済学』商事法務研究会)。
- DeLong, J. Bradford and Lawrence Summers(2001), "The 'New Economy': Background, Questions, and Speculations", available at [http://econ161.berkeley.edu/Econ\\_Articles/Summers\\_New\\_Economy\\_2001.html](http://econ161.berkeley.edu/Econ_Articles/Summers_New_Economy_2001.html).
- Demsetz, Harold(1967), "Toward a Theory of Property Rights", *The American Economic Review*, 57(2), pp.347-359.
- Fukuyama, Francis(1995), *Trust: the social virtues and the creation of prosperity*, Free Press(加藤寛訳(1996),『信無くば立たず』三笠書房)。
- ~~Gibbons, Robert(1992), *Game Theory for Applied Economists*, Princeton University Press(福岡正夫・須田伸一訳(1995),『経済学のためのゲーム理論入門』創文社)。~~
- ~~Granovetter, Mark(1985), "Economic Action and Social Structure: The Problem of Embeddedness", *American Journal of Sociology*, 91(3), pp.481-510.~~
- ~~Granovetter, Mark(1995), *Getting a Job*, University of Chicago Press(渡辺栄訳(1998),『転職』ミネルヴァ書房)。~~
- ~~Greif, Avner(2001), "Impersonal Exchange and the Origin of Markets: From the Community Responsibility System to Individual Legal Responsibility in Pre-modern Europe", in Aoki and Hayami(2001), pp.3-41.~~
- OECD(2001), *The Well-being of Nations*.
- Hardin, Garrett(1968), "The Tragedy of the Commons", *Science* Vol. 162, pp.1243-1248.
- Heller, Michael A.(1998), "The Tragedy of the Anticommons: Property in the Transition from Marx to Markets", *Harvard Law Review*, 111(3), pp.621-688.

- Heller, Michael A. and Rebecca S. Eisenberg(1998), "Can Patents Deter Innovation? The Anticommons in Biomedical Research", *Science* Vol. 280, pp.698-701
- Libecap, Gary D.(1986), "Property Rights in Economic History: Implications for Research", *Explorations in Economic History* 23, pp.253-268.
- North, Douglass C.(1990), *Institutions, Institutional Change and Economic Performance*, Cambridge University Press(竹下公視訳(1994)『制度・制度変化・経済成果』晃洋書房)。
- McGowan, David(2001), "Legal Implications of Open-Source Software", *the University of Illinois Law Review* 241, pp.242-303.
- ~~Merges, Robert P.(2000), "Intellectual Property Rights and the New Institutional Economics", *Vanderbilt Law Review* 53(6), pp.1857-1877.~~
- Putnam, Robert D.(1995), "Bowling Alone: America's Declining Social Capital", *Journal of Democracy*, 6(1), pp.65-78.
- Ribstein, Larry(2001), "Law v. Trust", *Boston University Law Review*, 81(3), pp.553-590.
- Stiglitz, Joseph E.(1997), *Economics*, W. W. Norton(藪下史郎ほか訳(2000),『ステイグリッツ・ミクロ経済学』東洋経済新報社)。
- Williamson, Oliver E.(1975), *Markets and Hierarchies*, the Free Press (浅沼万里・岩崎晃訳(1980)『市場と企業組織』日本評論社)。
- ~~Yeager, Timothy J.(1999), *Institutions, Transition Economics, and Economic Development*, Westview Press(青山繁訳(2001),『新制度派経済学入門』東洋経済新報社)。~~
- 青木昌彦(1996),『経済システムの比較制度分析』東京大学出版会。
- 青木昌彦(2001),『比較制度分析に向けて』N T T出版。
- 公文俊平(1994),『情報文明論』N T T出版。
- 公文俊平(2001),『文明の進化と情報化』N T T出版。
- 須藤修(1988),『ノイズと経済秩序』日本評論社。
- 須藤修(1995),『複合的ネットワーク社会』有斐閣。
- ポランニー, カール(玉野井芳郎・平野健一郎編訳)(1975),『経済の文明史』日本経済新聞社。
- 山岸俊男(1998),『信頼の構造』東京大学出版会。
- ルーマン, ニコラス(大庭健・正村俊之訳)(1990),『信頼:社会的な複雑性の縮減メカニズム』勁草書房。